



アクションハンドラ

アクションハンドラは、特定のイベントに応じて特定の作業を実行します。次のアクションハンドラは、現在 BNG でサポートされています。

- [許可のアクションハンドラ](#), (1 ページ)
- [認証のアクションハンドラ](#), (1 ページ)
- [切断のアクションハンドラ](#), (2 ページ)
- [アクティブ化のアクションハンドラ](#), (2 ページ)
- [非アクティブ化のアクションハンドラ](#), (2 ページ)
- [タイマー設定とタイマー停止のアクションハンドラ](#), (2 ページ)

許可のアクションハンドラ

許可のアクションハンドラは、外部の AAA サーバから特定の加入者 ID の許可データを取得します。許可のアクションハンドラは、非同期関数です。加入者属性データベース (SADB)、および CLI で指定された ID タイプに基づくユーザ クレデンシャルデータから ID 情報を収集します。この情報は、方式リストの名前とともに、AAA 許可コーディネータに送信されます。AAA の処理が完了すると、制御はイベント処理を完了するためにポリシー ルール エンジン (PRE) アクションハンドラに戻されます。設定例は次のとおりです。

```
1 authorize aaa list <list-name> [identifier <identifier-type> | format <format_name>
password ['use-from-line'| <user-cfg-password>
```



(注) パスワードは、ユーザが回線からの使用を選択するか、許可に使用する特定の値を提供するかどうかに関係なく、必須です。

認証のアクションハンドラ

認証のアクションハンドラは、プロトコルタイプ、サービスタイプ、認証タイプ、ユーザ名、CHAP 属性、およびユーザパスワードなどの情報を収集して、AAA 方式リストの名前とともに AAA のコーディネータに渡します。認証のアクションハンドラは、非同期関数です。AAA の

処理が完了すると、制御はイベント処理を完了するために PRE アクションハンドラに戻されます。設定例は次のとおりです。

```
1 authenticate aaa list <list-name>
```

切断のアクションハンドラ

切断のアクションハンドラは、加入者を切断するためにコールされます。加入者の切断に関して、PRE は、加入者の切断に関するすべてのクライアントを知らせるように、ポリシープレーンセッションマネージャ (PPSM) に通知します。PPSM は、切断を完了するために PRE に報告します。PRE は、加入者を切断状態にします。PRE は、ポリシー実行履歴と加入者のラベルを含む制御ブロックを保存するレコード履歴データも削除します。PRE の処理が実行されると、制御は処理のために PPSM に戻されます。

アクティブ化のアクションハンドラ

アクティブ化のアクションハンドラは、加入者設定のローカルな動的なテンプレートまたはリモートの AAA サービスをイネーブルにします。このアクションの結果は、即時または非同期です。PRE は、AAA 方式リスト名、テンプレートタイプ、およびテンプレート名などの情報を収集し、SVM に送信して処理します。SVM はテンプレートの処理が終了した後に制御を戻し、PRE は停止していた場所からアクションリストの処理を再開します。設定例は次のとおりです。

```
1 activate dynamic-template <template-name> [aaa list <list-name>]
```

非アクティブ化のアクションハンドラ

非アクティブ化のアクションハンドラは、加入者設定からローカルな動的なテンプレートまたはリモートの AAA サービスをディセーブルにします。このアクションの結果は、非同期です。PRE は、AAA リスト、テンプレートタイプ、およびテンプレート名などの情報を収集して、SVM に送信します。サービスを適用しないように要求します。AAA リストは、SVM で使用されるキーを取得するために使用されます。SVM はテンプレートの処理が終了した後に制御を戻し、PRE は停止していた場所からアクションリストの処理を再開します。設定例は次のとおりです。

```
1 deactivate dynamic-template <template-name> [aaa list <list-name>]
```

タイマー設定とタイマー停止のアクションハンドラ

タイマー設定のアクションハンドラは、アクティブな名前付きタイマーを加入者セッションで定義された期間に設定します。タイマー停止は、加入者セッションのアクティブな名前付きタイマーを停止します。タイマー設定のアクションハンドラをイネーブルにすると、サービスプロバイダーは加入者でトリガーされる設定時間のポリシー期限切れイベントを1つまたは複数持つことができます。これは、その加入者のライフサイクルにより優れた加入者管理を提供します。これらのアクションハンドラは、加入者ステートの状態のスケジュール化された確認（加入者が認証か非認証かを確認する）や加入者ポリシーの定期的な変更（毎日または時間ごとに再承認を強制するなど）といった機能を提供します。



(注) タイマー値が 0 のアクションは、アクションをすぐにトリガーします。

アクティブなタイマーを停止する方法は、次の 2 通りあります。

- タイマーが期限切れになるようにします。
- タイマー停止のアクション コマンドを使用して、実行中のアクティブなタイマーを停止します。

